

爲の指揮に任ず

七四月二十日戦斗司令部所津嘉山に推進す

八四月二十八日軍師團の連繫緊密ならしむる爲首里城軍司令部陣地に

戦斗司令部所を移す

九師團司令部後方各部は與座より津嘉山に進山軍需品の前送を急遽に

實行しつつあり

六四月三十日 五月四日を期し師團主力となり敵に總攻撃を加へ一

舉に進出すべく命せらる

七五月三日戦線に到着攻撃準備をなし五月四日拂曉を期し總攻撃を開

始す

主總攻撃は一部成功せるも友軍航空機の参加無く兵員の損耗尠少なら

ざる爲攻撃前の態勢に復歸持久に轉移することとなれり

主保有せる手榴彈對戦車爆薬の數尠き爲兵器勤務隊及工兵の一部をして

急速なる之が整備を命じ前線に補給す

五五月十六日敵與那原方面に進入せる爲師團司令部後方勤務者より一

ヶ中隊を臨時編成し軍兵器部長の指揮する特編大隊に加入官平附近

戦線に進出す

中隊長 松本中尉

小隊長 高梨中尉(雄技)

松浦中尉(主計)

人員約三十五名

十松本中隊は五月十六日より五日間敵と交戦兵員半減せるも頑強に陣

地を固守し交替部隊に陣地を引繼津嘉山に後歸す

六五月三十日首里後陣地の南翼に敵進出せるを以て首里後方に集積

しありたる彈藥糧秣を島尻地区に企圖を秘匿し其の表送を開始す

七五月二十七日師團は島尻地区掃蕩の命を受け八重嶺嶽一與座二國吉

の嶽に掃蕩更に持久態勢を整ふるべく行動を開始す

六月一日戦斗司令部所を津嘉山に更に六月二日島尻郡新垣に移轉新垣



部落附近高地に陣地を構築す

先六月五日戦斗司令部を真栗平南側宇江城洞窟に移す

司令部の一部を新垣に遺置すると共に後方各部の勤務者を左の如く

部隊に配属す(司令部要員を除く)

兵器部 兵器勤務隊

軍醫部 防疫給水部

獣醫部 病馬廠

管理部野戦倉庫員 歩兵第三十二聯隊

二十六月六日戦斗司令部附近に野戦陣地特に對戦車攻撃を考慮し陣地構

築す

司令部勤務者を以て警備隊を編成す

警備隊長 山口少佐(高級副官)

第一中隊長 川尻大尉

第二中隊長 田中大尉

第三中隊長 岩田中尉

二十六月十日敵師團正面に現出攻撃を開始す

二十六月十八日敵真栗平北側高地並に真壁部落に迫る

二十六月戦斗司令部附近の防禦態勢要圖附圖第二の如し同司令部警戒陣地要

圖附圖第三の如し

二十六月二十二日部隊との通信連絡杜絶し最後の師團命令發令せらる

二十六月二十三日二十四日司令部周邊部隊敵と最後の交戦をなす

二十六月二十五日司令部警備隊中新垣正面部隊全滅す司令部洞窟陣地閉

塞せらる

二十六月二十八日各部高級要員以下遺存將兵出撃

二十六月三十日師團長兼原各部長壯烈なる自刃を遂ぐ